

# 協会だより

(社)秋田市建設業協会

## 目 次

1. 年頭のごあいさつ
2. 定例会議
  - 理事会
  - 組織検討特別委員会・運営委員会合同検討会
  - 入札制度の検討等特別委員会
3. 行事報告
  - 秋田市建築関連団体連絡協議会役員会
  - 建設産業を考える議員の会との意見交換会
4. 青年会の活動
  - 忘年会



# 1. 年頭のあいさつ

会長 林 明 夫

新年明けましておめでとうございます。

平成24年の年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、お元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、3月11日に発生した千年に一度ともいわれる東日本大震災に驚愕し、被災された方々の悲しみに涙し、そしてそれぞれの立場で復興支援に係り、「がんばろう日本」を合言葉のもとに、人と人との絆の大切さを噛みしめながら過ごしてきた一年でありました。

そうした中で国民への大きな励ましとなったのは「なでしこジャパン」のワールドカップでの戦いぶりであり、震災で傷つき不安の中にいた日本に「絶対にあきらめない」という気概と世界一制覇の喜びと感動をいただきました。

下を向きかけていた国民の気持ちを、明日に向かって奮い立たせていただけたとても大きなプレゼントであったと思っております。

また、震災以降は「絆」・「豊かさや幸福」について考えさせられた年でもありました。その中で大きな関心呼んだのは、ブータンでの国全体の幸福度を示す「国民総幸福量」という尺度でした。

金銭的・物質的豊かさを目指すのではなく、精神的な豊かさから幸福を目指すべきだとする考えから生まれたもので、資本主義の競争の中で豊かさを求めて生きてきた私どもの価値観を大きく揺さぶる尺度でありました。

国民にとって幸福とは、そしてその尺度となる価値観をどう国民が共有するのか、皆さんの中にも年末のテレビの特集番組等を見ながら「国民の幸福」や「絆の大切さ」に思いをはせた方が多かったのではないかと思います。

さて、当協会の活動についてご報告させていただきます。

社会貢献活動の取り組みでは、秋田市の子育て・学び・文化サテライト（フォンテAKITA 6階に7月オープン）へ自動体外式除細動器（AED）1台並びに秋田杉テーブル・ベンチを2セット寄贈し、穂積秋田市長から感謝状を贈呈されております。

今後とも協会として、社会貢献活動を積極的に実施してまいりますので、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年度に着手する秋田市新庁舎建設工事につきましては、100年に一度の大事業でありますので、穂積市長並びに市議会に対し機会がある都度、市内業者共同企業体への

元請発注要望を重ねて来たところでもあります。

私ども市内建設業者はこれまでも、西部市民サービスセンター・北部市民サービスセンターを始め、各種大規模建築物の施工実績があり、新庁舎の施工は十分可能でありますので、建設も地産地消で担えればと考えております。

北都銀行のシンクタンクであります(株)フィデア総合研究所の調査によると、新庁舎建設工事の経済波及効果は秋田市内業者の共同企業体が元請け受注した場合約162億円、秋田市外業者（大手ゼネコン）が元請け受注した場合は約55億円とその差は約107億円と推計されております。

市内企業の受注による効果は雇用創出(1,557人)や秋田市の租税増大効果(約2億4,300万円)など多岐に渡り、建設関連のみならず金融・商工関連など秋田市の産業に多大な恩恵をもたらすと思われまます。

新庁舎建設工事が市内経済の活性化に活かせるよう、引き続き市内業者の共同企業体への元請発注要望の活動を積極的に展開してまいります。

さて、建設業を取り巻く環境は、公共事業などが年々減少する中で業者間の過当競争が激化し、最低制限価格や低入札価格で落札する受注等が更に増加するなど、厳しい競争環境や経営環境が継続しており、公共工事などの品質確保の観点からも極めて憂慮される現状にあります。

本年も、建設工事の品質確保・適正な価格での受注、雇用の拡大などを促進するために、建設業者の経営基盤の強化と持続的発展ができる競争環境などが整備されるよう入札制度の改善などについて、引き続き穂積秋田市長をはじめ秋田市議会に対し積極的に要請活動を展開してまいりますので、皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

なお、「新公益法人制度改革」に伴う一般社団法人へ移行についてであります。昨年は公益目的支出計画の対象事業の見直しに取り組む必要があったことから、本年5月開催の通常総会で新定款などについてご承認いただき、7月には秋田県知事へ一般社団法人への移行認可申請する予定であります。

最後になりましたが、今年は「龍（竜）年」 龍は想像上の動物で、神や仙人の乗り物、天を駆け雨を降らせる生物であるとされ、また、急流の「竜門」を魚が登りきると竜になるという「登竜門」の伝承があるととても縁起の良いものと言われております。

建設業にも力強い景気向上の恵みの雨を降らせていただき飛躍発展の年になるよう期待するとともに、会員皆様のご多幸とご繁栄を祈念し、新年の挨拶といたします。

## 2. 定例会議

### ◎理 事 会 12月9日(金)

《議題》

1. 秋田市新庁舎建設に伴う「市内建設業者共同企業体元請発注」の課題と今後の活動について  
秋田市新庁舎建設に伴う市内建設業者共同企業体元請発注に関する課題と今後の活動について協議いたしました。

### ◎理 事 会 12月22日(木)

《報告》

1. 秋田市新庁舎建設に伴う市内業者共同企業体元請発注要望について  
林会長より、建設産業を考える議員の会との意見交換並びに秋田市建築関連団体連絡協議会での意見交換及び要望活動に関する今後の活動について報告があり、了承されました。  
また、事務局より1月の行事予定について報告があり了承されました。

《行事予定》

1. 新年あいさつまわり  
開催日時 1月6日(金) 午前10時～  
挨拶先 穂積市長ほか  
参加者 三役、運営・企画・工務委員長
2. 安全祈願祭  
開催日時 1月11日(水) 神事 午後5時30分  
懇談会 午後6時  
会 場 秋田ビューホテル
3. 秋田市契約課・公共施設監査保全室との入札制度についての意見交換会  
開催日時 1月18日(水) 午後1時30分  
会 場 協会会議室  
参加者 入札制度の検討等特別委員

### ◎組織検討特別委員会・運営委員会合同検討会 12月6日(火)

《議題》

1. 一般社団法人への移行認可申請に伴う、定款・公益目的支出計画対象事業・共益事業・予算・申請書類について  
佐々木税理士・事務局より、秋田県総務課との事前相談の結果報告、公益目的支出計画対象事業、共益事業、予算の説明、定款・移行認可申請書類の説明があり、意見交換を行った結果、委員会として了とし、理事会に諮ることといたしました。

## ◎入札制度の検討等特別委員会

12月12日(月)

《議題》

### 1. 秋田市への入札制度見直し要望事項について

岡部副委員長・長谷川副委員長・事務局より要望事項（案）について説明があり協議した結果、要望事項として「最低制限価格の見直し」、「低入札調査基準価格並びに失格判断基準の見直しについて」、「総合評価落札方式の見直しについて」、「建設工事の発注は市内業者を優先的に選定していただきたい」を委員会として了とし、理事会に諮ることといたしました。

## 3. 行事報告

### ○秋田市建築関連団体連絡協議会役員会

- ・ 12月7日(水)正午から協会会議室において、秋田市新庁舎建設の事業方式及び地元経済への波及効果等について意見交換するとともに、秋田市新庁舎建設に伴う市内建設業者共同企業体元請発注要望に関する今後の活動等について協議いたしました。
- ・ 12月27日(火)午前11時から協会会議室において、市議会の秋田市新庁舎建設に関する一般質問への答弁や陳情に対する趣旨採択等について意見交換するとともに、秋田市新庁舎建設に伴う市内建設業者共同企業体元請発注要望に関する今後の活動等について協議いたしました。

### ○建設産業を考える議員の会との意見交換会

12月19日(月)正午から協会会議室において、秋田市新庁舎建設に伴う事業方式と経済波及効果について意見交換（相原会長ほか22名と協会三役、各委員長）し、市内建設業者共同企業体元請発注要望への支援を重ねてお願いいたしました。

## 4. 青年会の活動

### ○忘年会 12月7日(水)

12月7日(水)午後6時から牛玄亭で忘年会(15名参加)を開催し親睦を深めました。